



しあわせだより

H21.3月号 No.151

幸せの青い鳥

経営理念

1. 地域社会の住生活の満足度をより高める
2. 資産家の収益の最大化を計り、資産価値をより高める
3. 従業員の物心両面の幸せをより高める

経営方針（中期経営ビジョン）

1. 顧客に感動を与える、より高付加価値サービスの提供
2. 顧客へのさらなる満足の提供のために、経営者及び従業員一同心を高め常に自らを磨く事に努める
3. 常に感謝の気持ちを忘れず利他の心を持ち続け世の為人の為に誠実に行動する

毎月自動で募金できます。(ユニセフ・マンスリーサポート)



代表取締役
吉田弘志

お世話になっております。代表取締役の吉田弘志です。
時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
昨今、不況に喘ぐ日本人労働者の姿が取り上げられていますが、世界ではもっと厳しい食生活の中で、5歳の誕生日を迎えることなく死んでいく子供達が年間920万人もいます。
私は、これまでも単発的にユニセフ（国際連合児童基金）への募金を行ってまいりましたが、毎月自動で募金が行える「ユニセフ・マンスリーサポート」の存在を知り、

世界的な社会貢献に役立つならばと、早速、参加申込を致しました。
これにより、今後は毎月こちらで定めた一定金額を自動引落しでユニセフに募金することになります。
例えば、月々2,000円の募金を1年間続ければ、1,230人の子供が、はしかから命を守る予防接種を受けられます。又、月々3,000円で年間923人分の主要な文房具等、教育面での支援が可能であり、月々5,000円で災害等緊急時の家庭用水キット40個分をまかなうことが出来ます。
月々の支援金額の上限はありませんので、多ければそれだけ多くの命を救うことができます。
私が2才の時(昭和24年)に、ユニセフは戦後の日本の栄養不良や、病気の孤児等の支援の為15年間、当時の金額で65億円もの援助を提供してくれました。
そのおかげもあって、高度経済成長でまた我々日本人は、世界的な金融危機の中で置き去りにされた上記のような弱者救済に手を差し伸べる事は当然の事かも知れません。
私も今まで世界中を旅して、子供にだけは教育を受けさせたいと、片方の腕を売った(買ったのは日本人かも?)親の話等、貧困の実態をいやという程見てきました。
私たちからの支援が、国際的に求められるのは、ニュースで大きく取り上げられる様な、戦災や自然災害、事件、事故等、非常時の場合だけではありません。

子供たちは、生まれながら成長の過程で、様々な困難を乗り越え生きていかなければなりません。
子供たちが健康に育ち、教育を受け、自立し、平和な社会をつくる一員となるまで、継続した息の長い支援が必要です。
ユニセフ・マンスリーサポートに関心のある方は下記までお問合せをお願致します。



財団法人 日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)
電話・・・0120-88-1052(9:00~18:00、土日祝日休) FAX・・・0120-00-8779
インターネット・・・<http://www.unicef.or.jp> メール・・・webbokin@unicef.or.jp

「金持ち大家さん」の日めくり金言集! スーパーアバマン経営コンサルタント 浦田 健

「中古物件でも消費税の還付はできる」
条件さえ揃えば、中古物件でも消費税の還付は受けられます。
還付が受けられたときは、迷わず物件のバリューアップに資金を投入しましょう。



不動産投資だより

第32回「厳しい審査を逆に活用する」

不動産投資
アドバイザー
満山ひろみ



金融危機で大手企業の破綻のニュースが後を立たないマイナスの今だからこそ、出来ることは何か、ピンチはチャンスと言いますが、こういう時だからこそプラス思考に捉えるのも良いかも知れません。投資には、融資が関連します。今の経済状況では、各銀行による融資審査も当然厳しくなっており、融資がなかなか通りにくい状態です。ですが、発想を変えてみると、このような時に厳しい銀行審査が通る案件であれば、その投資に対するリスクが分かると思います。銀行もリスクを見て、この状況でも大丈夫だと思って融資を返す訳ですから、一案件リスクの目安としては、非常に良いのではないのでしょうか。逆に、今まで融資が通っていても、リスクが高いと判断すれば銀行の審査に落ちてしまいます。私は、今の状況で銀行審査が通らない案件は、元々無理があるのだと思います。感じ方は、士まがまですが、そういう見方も良いのではないのでしょうか。

「東北IT経営実践ベストモデル賞」受賞のご報告



株式会社いわき土地建物、システム部門の江尻と申します。
仕事は社内のシステム環境を整備・管理しております。直接家主様と接する機会が少ないのですが、普段よりお客様へご紹介させていただいております。直接家主様と接する機会が少ないのですが、普段よりお客様へご紹介させていただいております。直接家主様と接する機会が少ないのですが、普段よりお客様へご紹介させていただいております。
今回はこのシステム部門を代表してお伝えすることがあり、この場にて報告させていただきます。この度弊社は、東北経済産業局および東北IT経営応援隊様より、「東北IT経営実践ベストモデル賞」を賜りました。この賞は『東北地域の中小企業におけるIT経営のモデルとなるべき経営を実践し、他企業においてもその取り組みが参考となることを期待される企業に授与されるもの』とのことで、簡単に言うと「あなたの会社はITを積極的に活用しているのよ、これからも他の会社の見本となるべく精進してください」ということでしょうか。弊社の業務効率の向上が認められ、今回不動産会社として東北地区で唯一の受賞で、大変光栄に思うと共に、今後も賞に恥じぬよう日々勉強をし、間接的ではあっても皆様のお力になれればと思っております。先月19日に受賞式が仙台にて行われ、私も出席させていただきました。表彰式の前後には講演があり、受賞者の方々以外にも聴講者が多く参加しておりました。その中で壇上にて賞状を戴くというのはどうにも緊張してしまい、頭がこわがっていたかも知れません。他の受賞企業の方達も緊張している人や、逆に楽しんでる人、懐かしている人など様々で、その様子を見て多岐なりとも緊張がほぐれたのか、なんとか転びもせず賞状をうけると事ができました。残念ながらその時のこぼれた顔の受賞写真は撮影できなかったのですが、事務局より集合写真を頂けるとのこと、その際はホームページで報告させていただきます。なんともまとまりのない文章ではありますが、以上受賞の報告とさせていただきます。最後に今回の受賞は、弊社にお力添えいただいております皆様と、それに応えようと頑張っている従業員全員のおかげです。ありがとうございました。



システム
和宏主任
江尻

平下荒川、ハッピーマンション完成見学会開催



先にご郵送した書面にてお伝え致しましたとおり、3月7日(土)~8日(日)の2日間、平下荒川に完成した14棟目になるハッピーマンションの見学会を行いましたので、ご報告申し上げます。開催期間中は天候にも恵まれ、沢山のオーナー様、入居予定者様、入居希望者様のご来場を賜りました。ハッピーマンションシリーズ初のメゾネットタイプとして、本年1月より入居者募集を開始しましたが、2月を待つことなく入居希望者・キャンセル待ちで一杯になりました。見学会当日にも、キャンセル待ちでも良いと言うお客様が何人もご来場される程で、当シリーズの魅力の高さを実感しました。建物の品質もさることながら、立地も素晴らしい物件です。今回ご来場いただけなかった皆様も、一度現地をご覧いただければ、ご納得いただけるかと思います。また、同時開催した抽選会では、今回初めて1等当選者が出ました。当選者には、5万円分の商品券を贈呈いたしました。そして、チャリティーバザールでティッシュBOXを1ヶ10円で販売した収益金の550円と、当社より2万円を加えた2万550円を、福島民友社「愛の事業団」社会福祉基金に寄付致しました。最後に、ご来場いただいた皆様、開催に関してご協力いただいた施主様と、ご近所の皆様へ、厚く御礼申し上げます。